

---

---

# SBI ラップ・シリーズ

---

---

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

- （ラップ専用）SBI・米国株式
- （ラップ専用）SBI・先進国株式
- （ラップ専用）SBI・新興国株式
- （ラップ専用）SBI・米国債券
- （ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券
- （ラップ専用）SBI・新興国債券
- （ラップ専用）SBI・米国不動産
- （ラップ専用）SBI・ゴールド

 **SBI** Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、  
レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国株式」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドはSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国株の代表的インデックスの一つであるCRSP US トータル・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	14,836円
純資産総額	11,448百万円
第2期	
騰落率	50.6%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国株式

追加型投信／海外／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

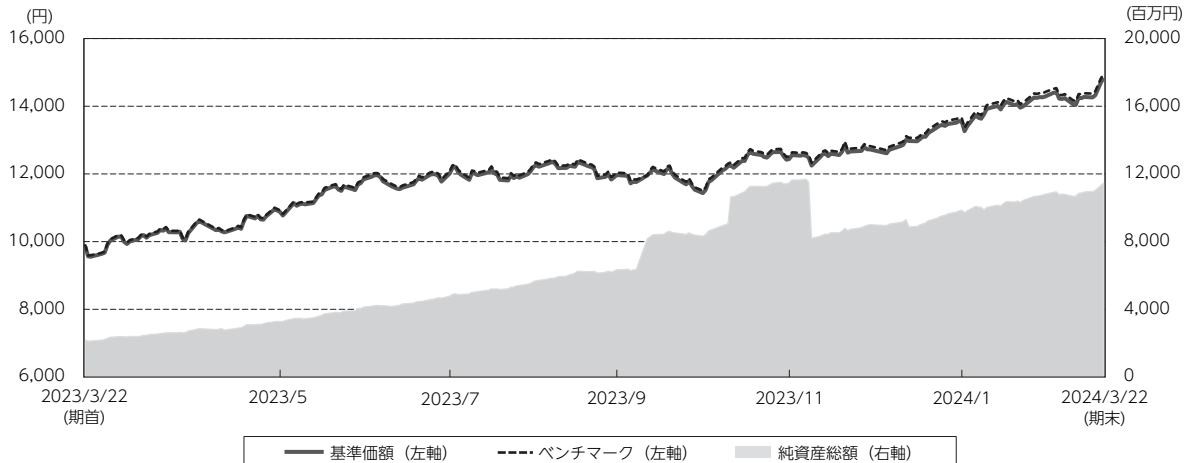
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期 首： 9,854円

期 末： 14,836円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 50.6%

(注1) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首 (2023年3月22日) の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能 (AI) 関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の積極的な政策金利引上げ
- ・米国債の格下げによりリスク回避が強まったこと
- ・米国債務上限問題によりリスク回避が強まったこと

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	19 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 13 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	4	0.036	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 1 )	(0.009)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	23	0.197	
期中の平均基準価額は、11,978円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

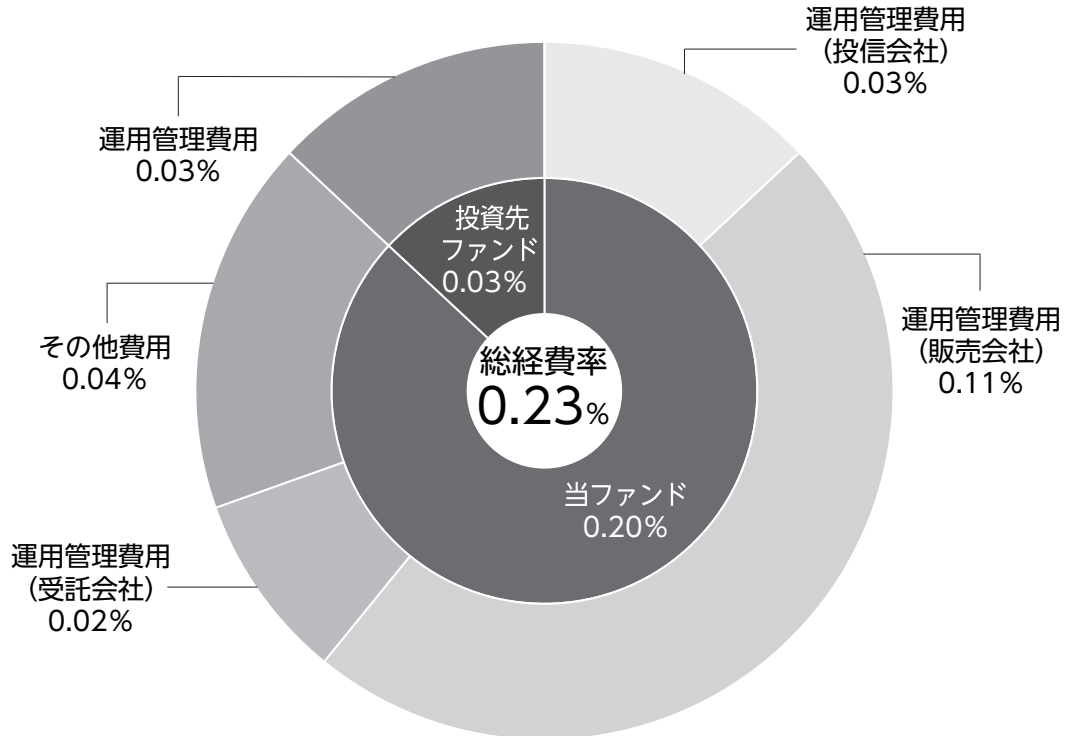
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.23%です。



総経費率 (①+②)	0.23%
①当ファンドの費用の比率	0.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

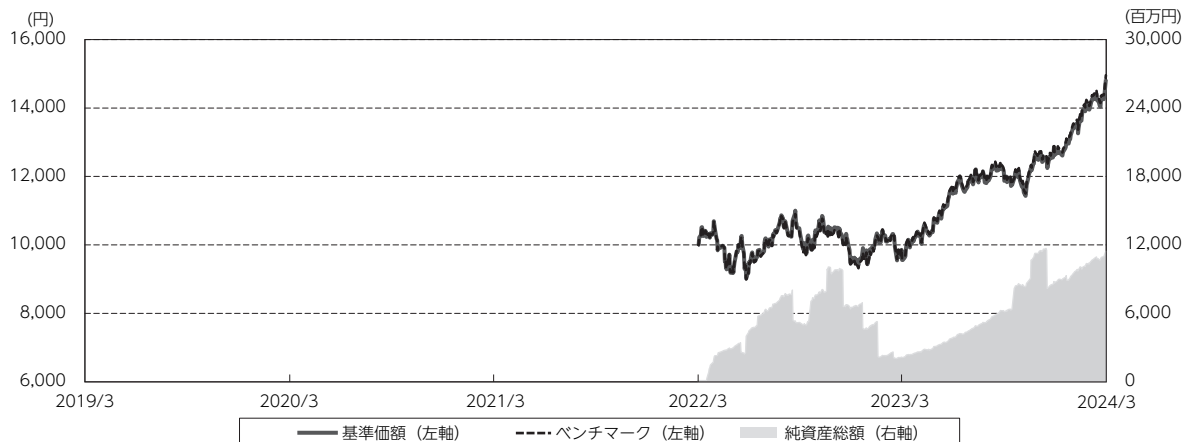
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月22日～2024年3月22日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2022年3月23日から2024年3月22日)のみの記載となっています。

(注2) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

(注3) ベンチマークは、設定日(2022年3月23日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,854	14,836
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△1.5	50.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△1.1	51.3
純資産総額 (百万円)	100	2,170	11,448

(注1) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日(2022年3月23日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<米国株式市場>**

期初、米国市場を代表するS&P500種指数で見て3,900台（終値ベース）で始まりしました。3月に米国金融機関の破綻に伴う信用不安などにより、S&P500種指数が調整局面に入りましたが、当局の対応などからやや値を戻し、3月は上昇しました。4月から5月末にかけて、レンジ相場が続きました。6月は米債務上限適用停止法案の可決・成立を受けてリスク選好が改善する中、堅調な雇用統計などが好感されて上昇しました。7月は米消費者物価指数（CPI）の鈍化、企業の好決算などを受けて、S&P500種指数が更に上昇しました。8月は米国債の格下げからリスク回避の動きが強まるとともに、米長期金利上昇が嫌気され、下落しました。9月は原油高や堅調な米サービス業景況感を受けて長期金利が上昇する中、ハイテク株などが売られ、S&P500種指数がさらに下落しました。10月は、高金利長期化観測に伴い、需要の先行き不透明感が強まったことから、S&P500種指数が一段と下落しました。しかし、11月から期末にかけて、米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが強く示唆されなかったことなどから長期金利が大幅に低下する中、ハイテク株などが買われ、S&P500種指数が上昇しました。通期ではS&P500種指数が上昇し、5,200台で終わりました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計から米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米CPIの伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年3月23日～2024年3月22日)

### <当ファンド>

ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

### <SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド>

ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.5%となっております。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月23日～2024年3月22日)

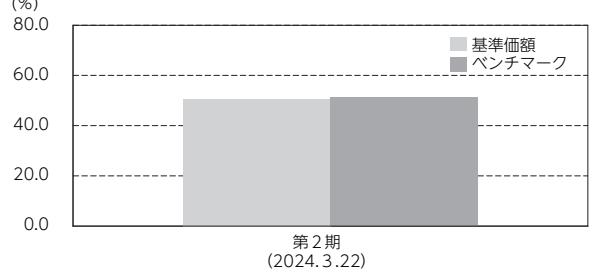
期中における基準価額は、+50.6%の上昇となり、ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース)」の騰落率である+51.3%を概ね0.7%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

(マイナス要因がプラス要因を上回りました。)

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比 (期別騰落率)



(注) ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース) です。詳細はP13をご参照ください。



**分配金**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期	
	2023年3月23日～ 2024年3月22日	
当期分配金	－	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	4,836	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

**<SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド>**

引き続き、「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

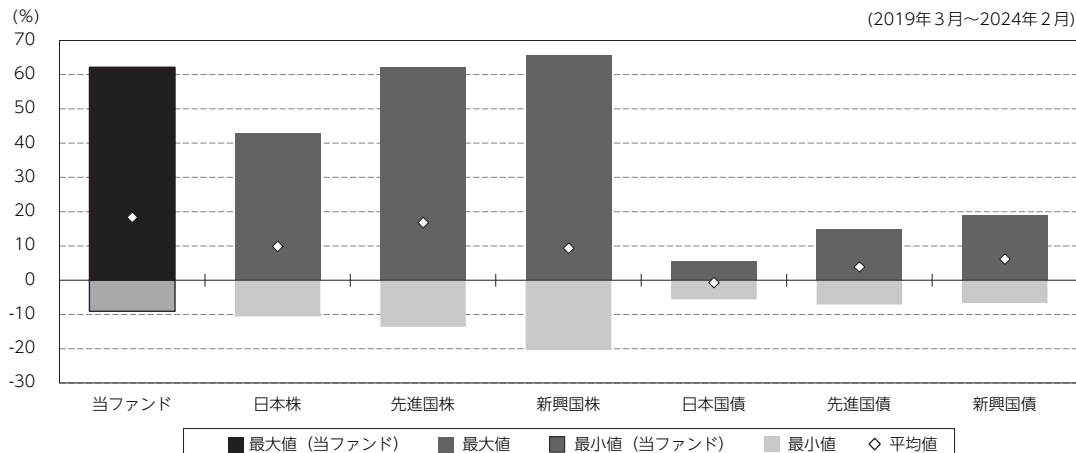
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	62.2	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	△ 9.1	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	18.3	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。なお、当ファンドに係る2023年2月までの年間騰落率についてはベンチマークを用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

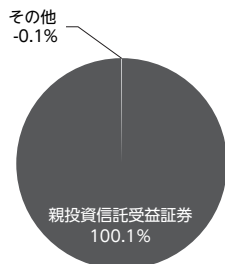
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

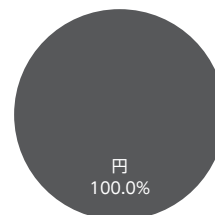
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	11,448,909,075円
受益権総口数	7,716,897,912口
1万口当たり基準価額	14,836円

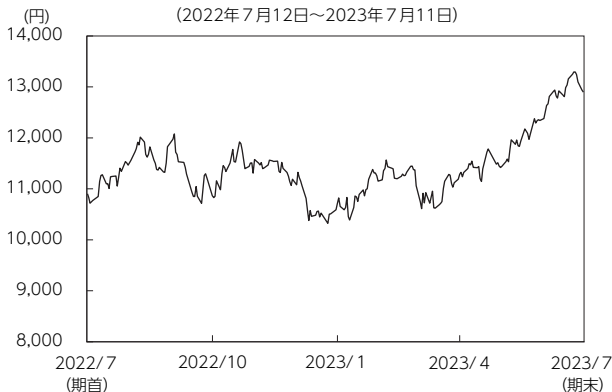
(注) 期中における追加設定元本額は10,165,045,286円、同解約元本額は4,650,882,307円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2022年7月12日～2023年7月11日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2022年7月12日～2023年7月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円	0.014%
(その他)	( 2)	(0.014)
(その他)	( 0)	(0.000)
合計	2	0.014

平均基準価額は、11,431円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2023年7月11日現在)

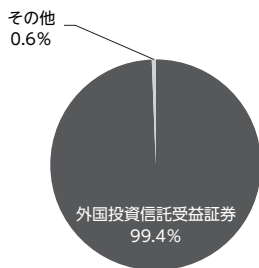
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Vanguard Total Stock Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.4%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

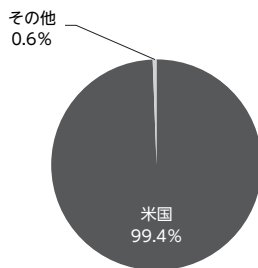
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

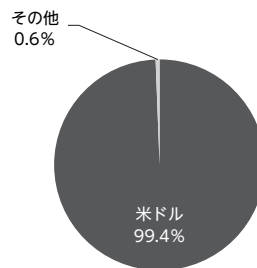
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2023年7月11日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しています。

### <当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックスを委託会社にて円換算しています。

OCRSP US トータル・マーケット・インデックス

CRSP USトータル・マーケット・インデックスとは、米国株式市場の大型株から小型株までを対象とし、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

(各指数の概要)

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(重要事項)

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・先進国株式」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	13,744円
純資産総額	6,476百万円
第2期	
騰落率	34.3%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・先進国株式

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：10,234円

期末：13,744円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 34.3%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の動向きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引き上げ
- ・米国債の格下げによりリスク回避が強まったこと
- ・米国債務上限問題によりリスク回避が強まったこと



## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

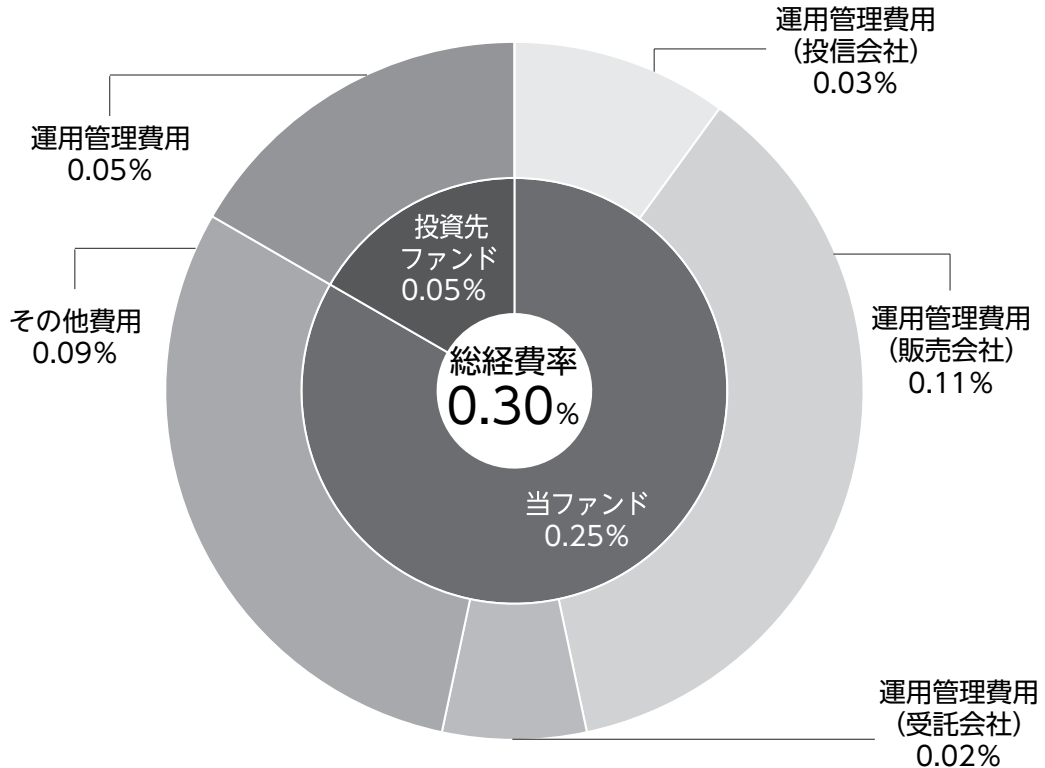
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 13 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	11	0.090	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 6 )	(0.051)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 2 )	(0.020)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 2 )	(0.018)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	30	0.251	
期中の平均基準価額は、11,775円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.30%です。



総経費率 (①+②)	0.30%
①当ファンドの費用の比率	0.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月22日～2024年3月22日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2024年3月22日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,234	13,744
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	2.3	34.3
純資産総額 (百万円)	100	2,910	6,476

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<先進国株式市場>**

期初、米国市場を代表するS&P500種指数で見て3,900台（終値ベース）で始まりしました。3月に米国金融機関の破綻に伴う信用不安などにより、S&P500種指数が調整局面に入りましたが、当局の対応などからやや値を戻し、3月は上昇しました。4月から5月末にかけて、レンジ相場が続きました。6月は米債務上限適用停止法案の可決・成立を受けてリスク選好が改善する中、堅調な雇用統計などが好感されて上昇しました。7月は米消費者物価指数（CPI）の鈍化、企業の好決算などを受けて、S&P500種指数が更に上昇しました。8月は米国債の格下げからリスク回避の動きが強まるとともに、米長期金利上昇が嫌気され、下落しました。9月は原油高や堅調な米サービス業景況感を受けて長期金利が上昇する中、ハイテク株などが売られ、S&P500種指数がさらに下落しました。10月は、高金利長期化観測に伴い、需要の先行き不透明感が強まったことから、S&P500種指数が一段と下落しました。しかし、11月から期末にかけて、米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが強く示唆されなかったことなどから長期金利が大幅に低下する中、ハイテク株などが買われ、S&P500種指数が上昇しました。通期ではS&P500種指数が上昇し、5,200台で終わりました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計から米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米CPIの伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

**<(ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド>**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、先進国 (米国を除く) 株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・ディベロップド・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.9%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、先進国 (米国を除く) 株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期	
	2023年3月23日～ 2024年3月22日	
当期分配金	－	
（対基準価額比率）	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	3,743	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

## &lt;当ファンド&gt;

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

## &lt;（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド&gt;

引き続き、「バンガード・FTSE・ディベロップド・マーケットETF」を主要投資対象とし、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

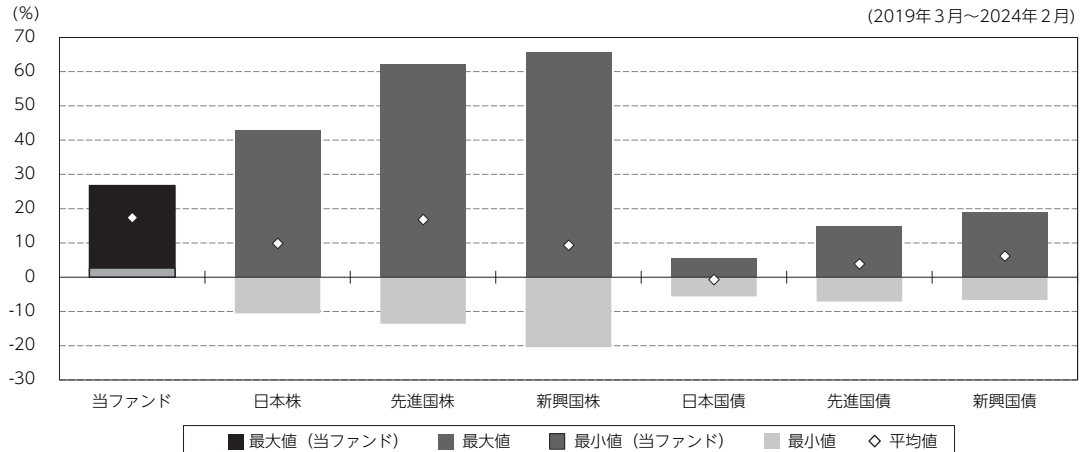
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.8	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	2.6	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	17.4	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P26の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。



## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

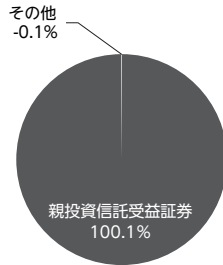
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

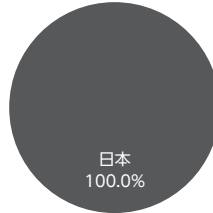
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

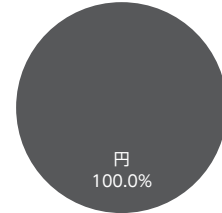
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	6,476,849,265円
受益権総口数	4,712,569,370口
1万口当たり基準価額	13,744円

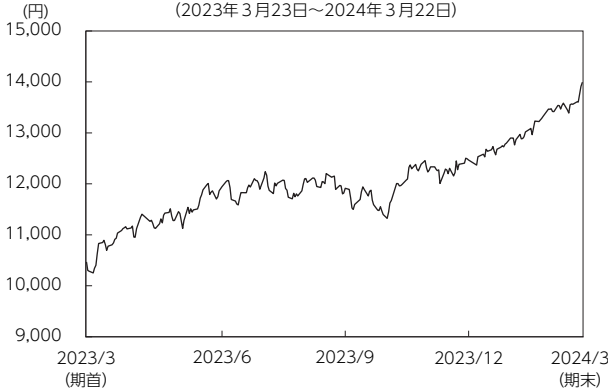
(注) 期中における追加設定元本額は4,585,018,590円、同解約元本額は2,716,856,759円です。

## 組入上位ファンドの概要

## （ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	6円 ( 6)	0.051% (0.051)
合計	6	0.051
平均基準価額は、11,983円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P16をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

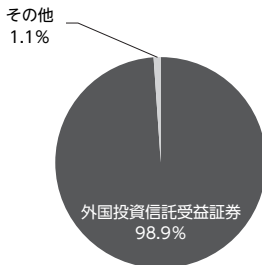
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard FTSE Developed Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.9
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

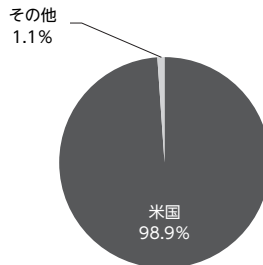
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

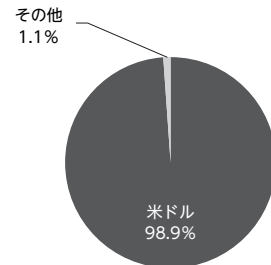
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・新興国株式」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	11,969円
純資産総額	18,669百万円
第2期	
騰落率	25.3%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・新興国株式

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

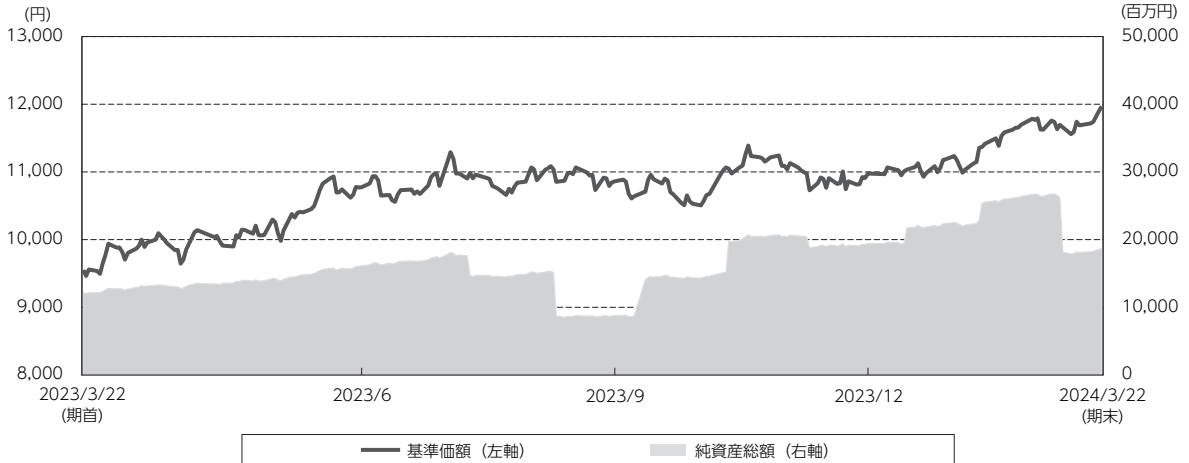
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：9,549円

期末：11,969円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：25.3%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待や欧米の長期金利が低下したこと
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施されていた中国の行動制限緩和による中国景気の回復の期待
- ・台湾の半導体大手の決算を受けて世界的にハイテク株が上昇したこと
- ・新興国通貨が対円で総じて上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引上げ
- ・世界的なインフレ懸念を背景に複数の新興国および欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと
- ・中国の不動産市況の悪化が警戒されたこと
- ・中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクの高まりが警戒されたこと

## 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

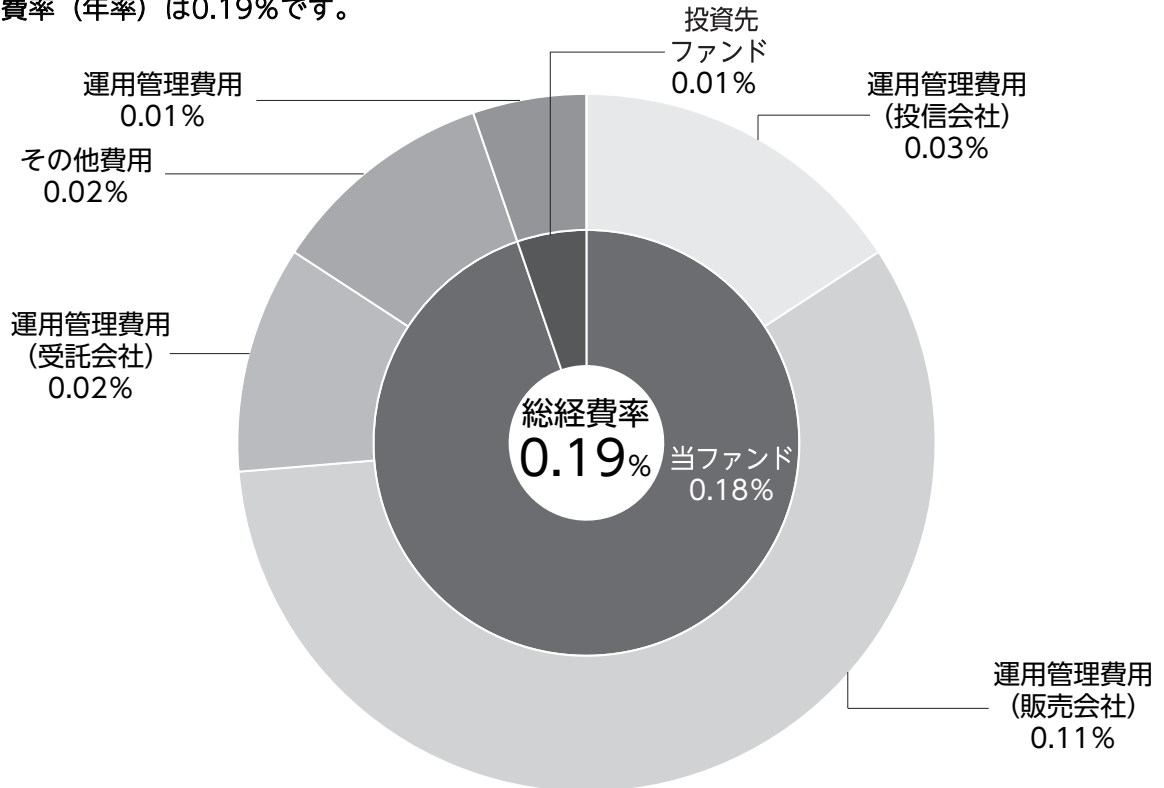
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	17 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 12 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.020	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 0 )	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	19	0.181	
期中の平均基準価額は、10,750円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.19%です。



総経費率 (①+②)	0.19%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年3月22日～2024年3月22日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2024年3月22日）のみの記載となっています。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,549	11,969
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△4.5	25.3
純資産総額 (百万円)	100	12,087	18,669

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。



**投資環境**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

**<新興国株式市場>**

新興国株式市場は、3月から7月下旬にかけて上昇しました。世界的なインフレ懸念を背景に、欧米の主要中央銀行や複数の新興国が利上げを継続したことや、米国による対中投資制限の観測から米中対立の激化が懸念されたことなどが株価の重しとなった一方で、中国のゼロコロナ政策解除から中国景気の回復が期待されたことや、中国人民銀行が景気下振れリスク抑制のため最優遇貸出金利を引き下げたこと、中国政府より景気刺激策を追加する方針が示されたことなどが支援材料となり、新興国各国の株価は概ね上昇しました。8～10月は、中国の貿易統計で輸出・輸入ともに低迷していることなどから中国景気の先行き不安が強まり、中国の不動産市況の悪化が警戒されたこと、中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクが高まり、世界経済の先行き懸念が高まったことなどから、新興国各国の株価は総じて下落しました。11～12月は、米景気減速への懸念やインフレ減速を背景とした米連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ観測などから米長期金利が低下し、欧州の中央銀行も金融緩和に転じると見込まれたことなどが支援材料となり、新興国各国の株価は総じて上昇しました。ただし中国に関しては、不動産の低迷、大規模な景気刺激策の欠如に対する懸念から軟調に推移しました。1～3月は、1月中旬までは下落したものの、その後、中国政府系機関「国家隊」による買い支えや空売り規制などの強化などから株価は反発し、半導体関連の成長期待から台湾、経済指標が良好であったブラジルなどを中心に、新興国株式は多くの市場で上昇し、今期を終えました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

**< (ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド >**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は97.9%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2023年3月23日～ 2024年3月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,968

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

## &lt;当ファンド&gt;

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

## &lt;(ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド&gt;

引き続き、「バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF」を主要投資対象とし、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

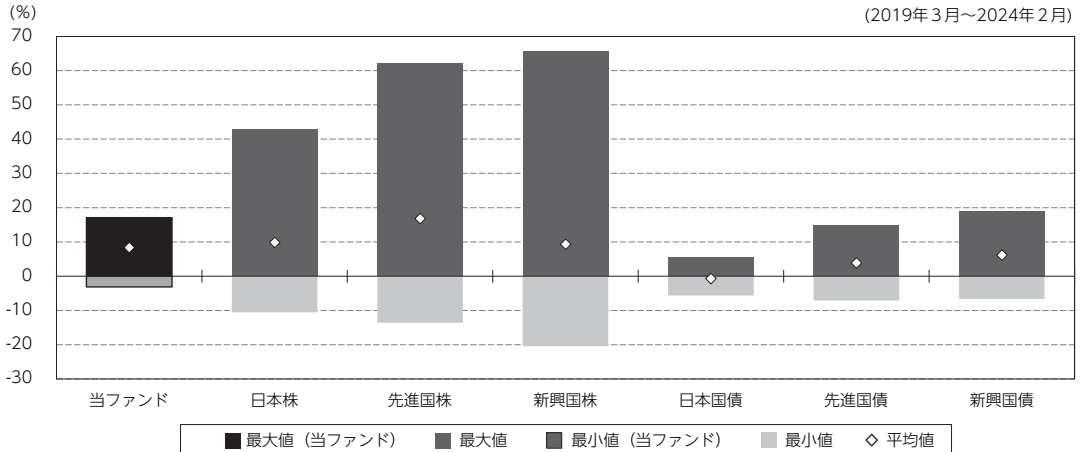
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.1	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	△ 3.1	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	8.4	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P39の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

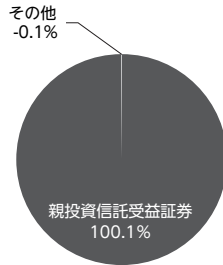
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

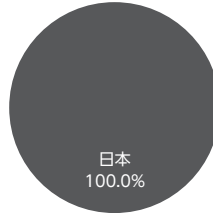
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

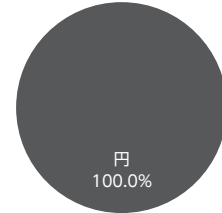
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	18,669,578,136円
受益権総口数	15,598,590,164口
1万口当たり基準価額	11,969円

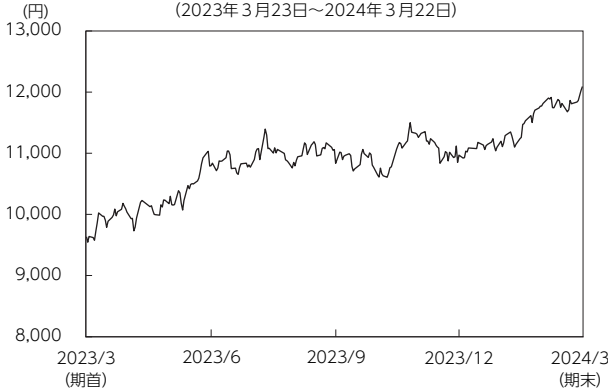
(注) 期中における追加設定元本額は27,259,717,260円、同解約元本額は24,319,910,149円です。

## 組入上位ファンドの概要

## （ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	1円 ( 1)	0.013% (0.013)
合計	1	0.013
平均基準価額は、10,853円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P29をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

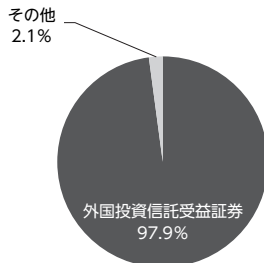
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	97.9
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

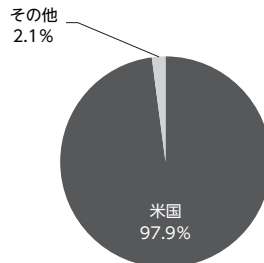
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

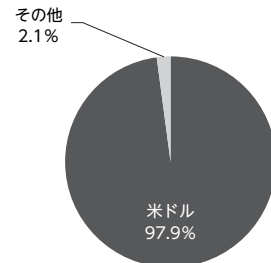
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国債券」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	11,878円
純資産総額	22,644百万円
第2期	
騰落率	16.0%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国債券

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

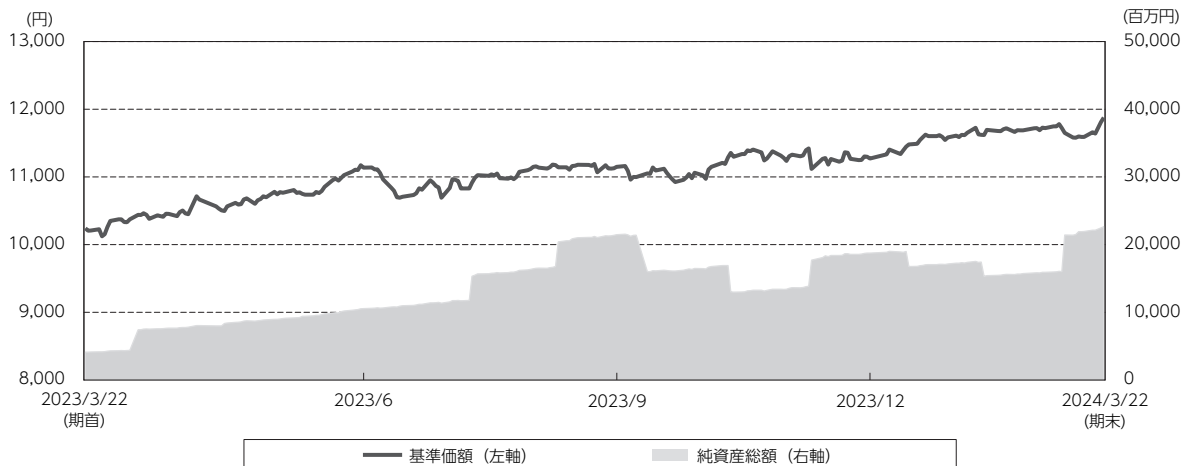
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：10,240円

期末：11,878円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 16.0%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の積極的な政策金利引き上げ
- ・米国債の格下げによりリスク回避が強まったこと
- ・米国債務上限問題によりリスク回避が強まったこと

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	18 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投信会社 )	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社 )	( 12 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受託会社 )	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.025	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用 )	( 2 )	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用 )	( 1 )	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印刷 )	( 0 )	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
合計	21	0.186	
期中の平均基準価額は、11,061円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

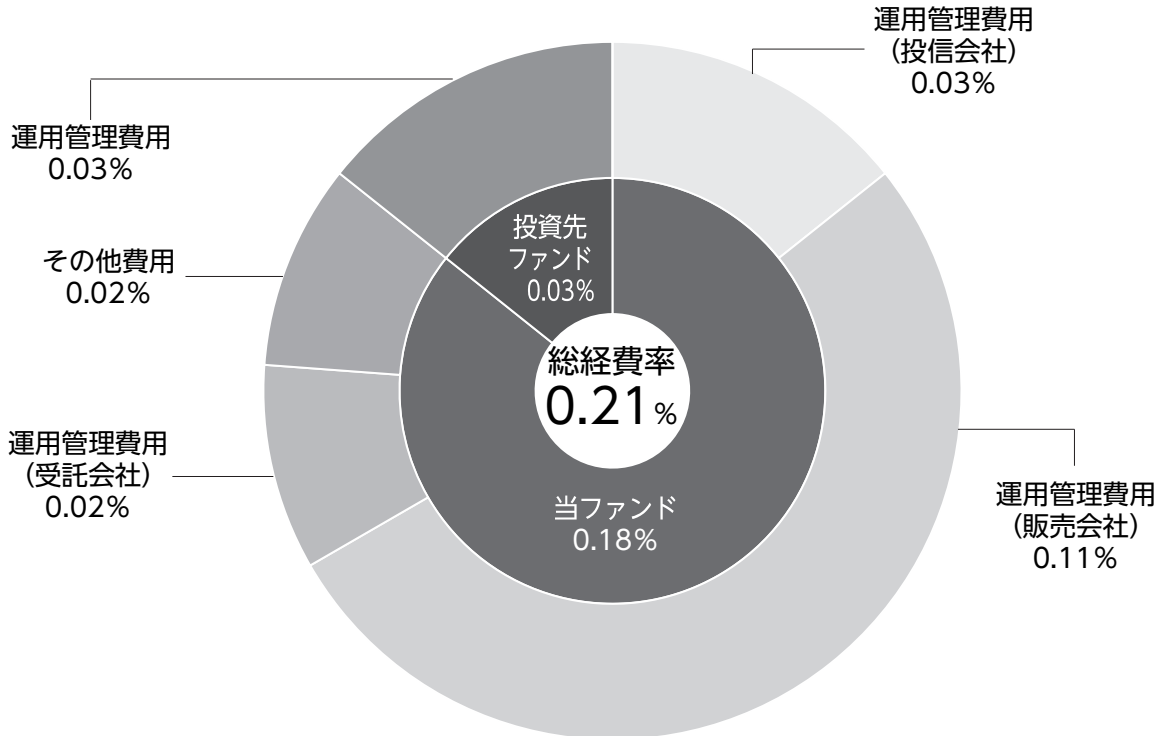
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.21%です。



総経費率 (①+②)	0.21%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月22日～2024年3月22日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2022年3月23日から2024年3月22日)のみの記載となっています。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,240	11,878
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	2.4	16.0
純資産総額 (百万円)	100	4,098	22,644

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<米国債券市場>**

米国債券市場（10年債）は4月から10月にかけて、下落（金利は上昇）しました。米金融引き締め  
の長期化観測、米景気の底堅さ、米国債の需給悪化懸念などから、金利は上昇しました。11月から12月  
にかけて、連邦公開市場委員会（FOMC）を受けて追加利上げ観測が後退したことや、米国債需給悪化  
を巡る懸念の緩和、米消費者物価指数（CPI）の伸び下振れなどから、金利は低下しました。その後、  
米連邦準備制度理事会（FRB）高官による早期利下げ観測をけん制する発言や米CPIの伸びが上振れし  
インフレ圧力の根強さが意識されたことなどから、金利は上昇しました。通期で金利は上昇しました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安とな  
りました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を  
決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や  
米CPIの伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、  
7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方  
から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金  
利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その  
後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円  
高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地  
震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPI  
や米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に  
150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円  
半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を  
終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

**< (ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド >**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・トータル・ボンド・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.2%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2023年3月23日～ 2024年3月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,878

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

## &lt;当ファンド&gt;

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

## &lt;(ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド&gt;

引き続き、「バンガード・トータル・ボンド・マーケットETF」を主要投資対象とし、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。



## お知らせ

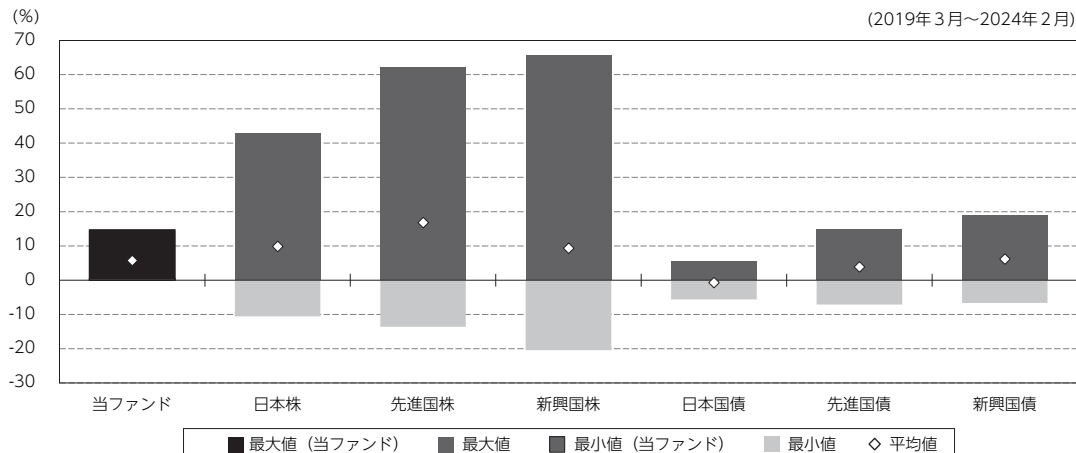
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.7	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	0.5	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	5.7	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P52の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

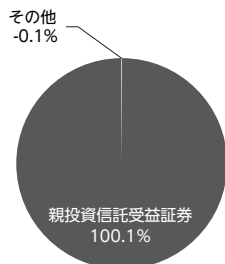
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

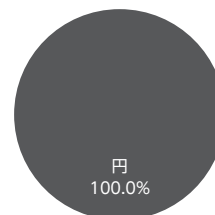
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	22,644,162,985円
受益権総口数	19,063,868,793口
1万口当たり基準価額	11,878円

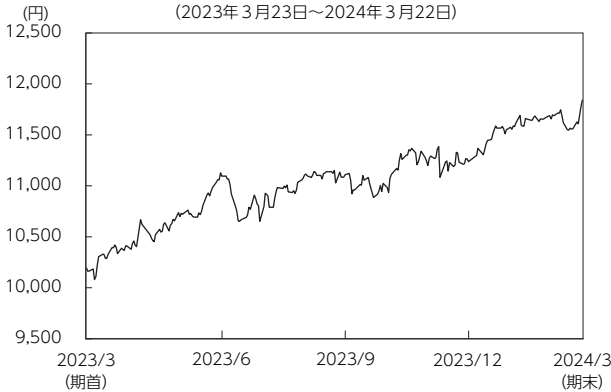
(注) 期中における追加設定元本額は32,374,316,265円、同解約元本額は17,312,764,126円です。

## 組入上位ファンドの概要

## (ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 ( 2)	0.016% (0.016)
合計	2	0.016
平均基準価額は、11,022円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P42をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

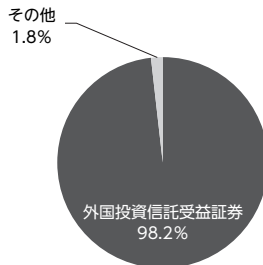
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Vanguard Total Bond Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.2%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

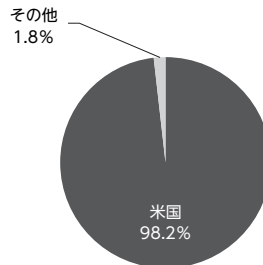
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

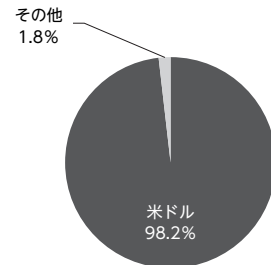
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	13,052円
純資産総額	6,738百万円
第2期	
騰落率	26.1%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国ハイイールド債券

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

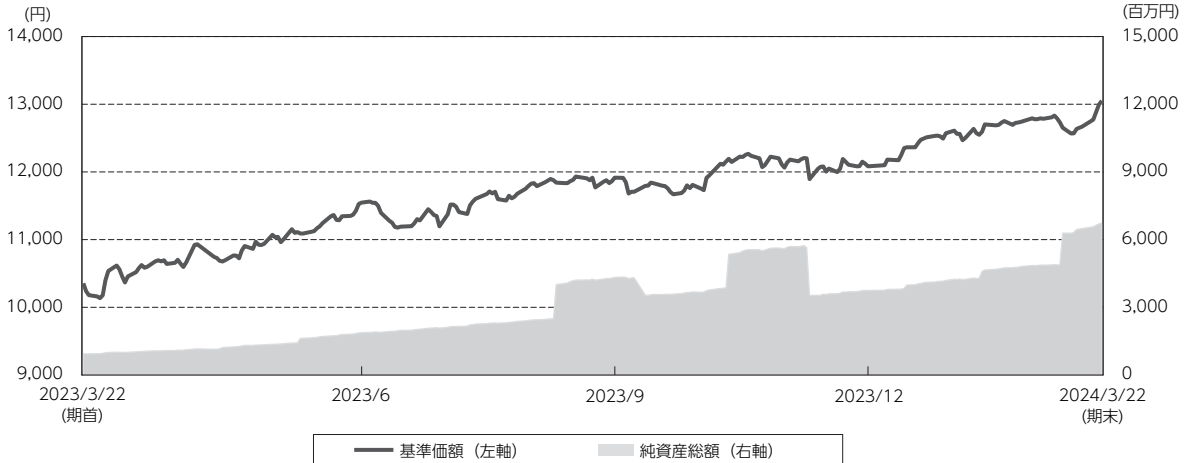
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：10,354円

期末：13,052円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 26.1%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米景気の軟着陸期待
- ・対円でドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の積極的な政策金利引上げ
- ・FRBの金融引き締め長期化観測
- ・米銀問題に伴う懸念
- ・利上げに伴う景気への悪影響

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 13 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	11	0.096	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 6 )	(0.054)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 3 )	(0.022)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 2 )	(0.020)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	30	0.257	
期中の平均基準価額は、11,683円です。			

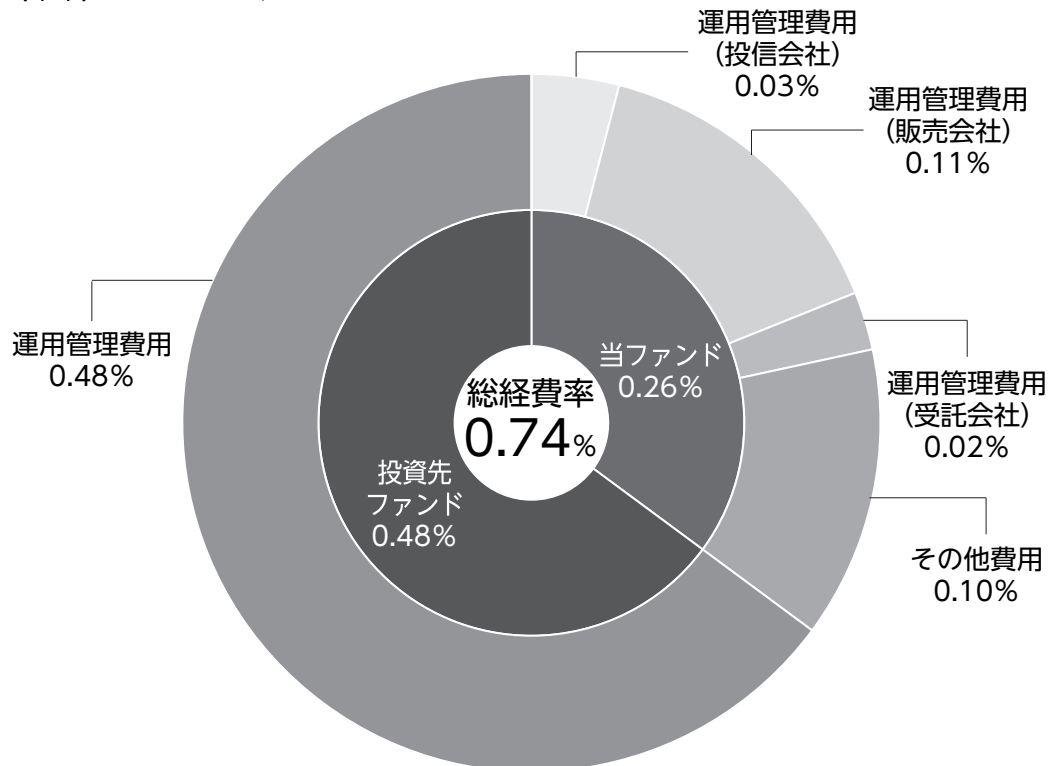
- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.74%です。



総経費率 (①+②)	0.74%
①当ファンドの費用の比率	0.26%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月22日～2024年3月22日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ (2022年3月23日から2024年3月22日) のみの記載となっています。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,354	13,052
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	3.5	26.1
純資産総額 (百万円)	100	939	6,738

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<米国ハイイールド債券市場>**

米国ハイイールド債券市場は、3～4月は債券価格が上昇（利回りは低下）しました。米地銀破綻による金融システムへの過度な不安が後退する中、米消費者物価指数（CPI）の伸び下振れなどを受け、インフレ圧力は緩和しているとの見方から価格が上昇しました。5月は、米連邦公開市場委員会（FOMC）後の会見でパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利下げに否定的な見解を示し、米金融引き締め長期化が米景気を冷やすとの見方が強まり、価格は下落しました。6～8月は、米国のデフォルト（債務不履行）が回避され、リスク選好となる中、米小売売上高が予想外に増加し、米景気の底堅さが意識されたことなどから上昇し、パウエルFRB議長の議会証言などを受けて金融引き締め長期化観測が強まり下落した後、米CPIなどが米インフレ鈍化を示唆し、米利上げの長期化観測が後退したことや、米GDPの上振れなどから上昇しました。9～10月は、米景気や労働市場の底堅さ、FRBの金融引き締め長期化観測から相場は下落しました。11～12月は、FOMCを受けて追加利上げ観測が後退したこと、米CPIの伸び下振れなどに伴う米長期金利の低下が相場の支えとなりました。1月はもみ合いの後、2～3月は、米景気の軟着陸期待や米個人消費支出（PCE）価格指数の伸びが市場予想と一致し、利下げの先送り懸念が和らいだことから上昇し、通期では価格上昇で終わりました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米CPIの伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である(ラップ専用)SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

**<(ラップ専用)SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド>**

主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.3%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期	
	2023年3月23日～ 2024年3月22日	
当期分配金	-	
(対基準価額比率)	-%	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	3,052	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

## &lt;当ファンド&gt;

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

## &lt;(ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド&gt;

引き続き、「iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債ETF」を主要投資対象とし、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

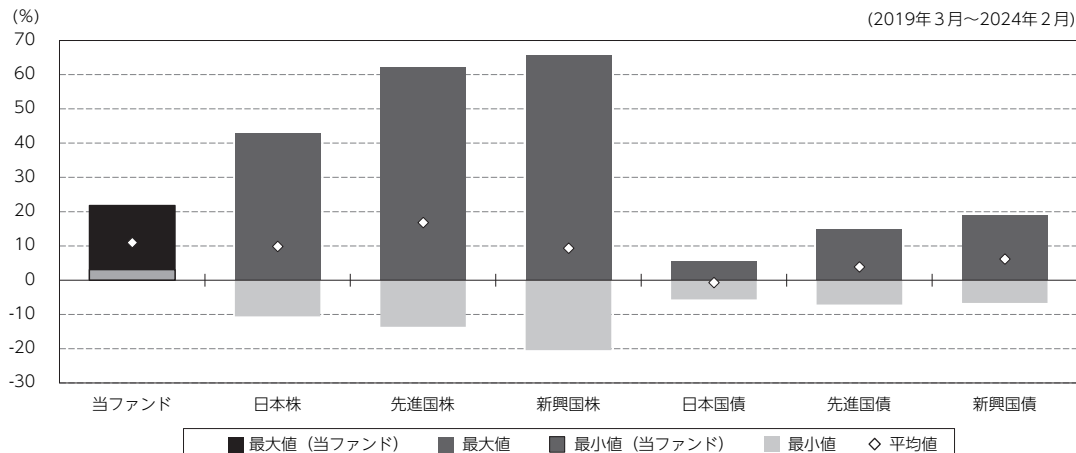
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.8	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	3.1	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	11.0	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P65の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

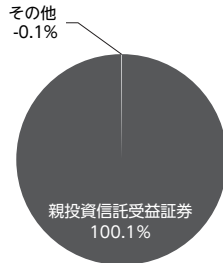
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

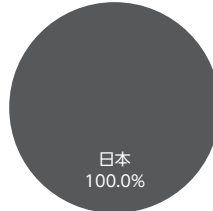
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

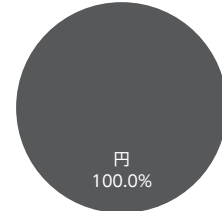
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	6,738,689,420円
受益権総口数	5,162,814,603口
1万口当たり基準価額	13,052円

(注) 期中における追加設定元本額は8,277,684,984円、同解約元本額は4,022,356,425円です。

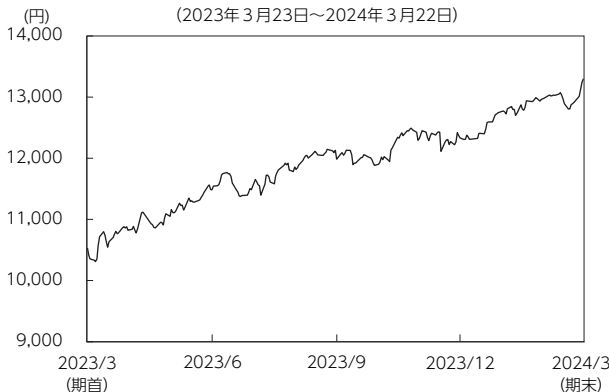


## 組入上位ファンドの概要

## (ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	6円 ( 6)	0.054% (0.054)
合計	6	0.054
平均基準価額は、11,895円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P55をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

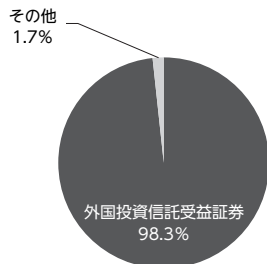
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.3
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

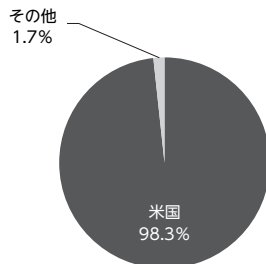
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

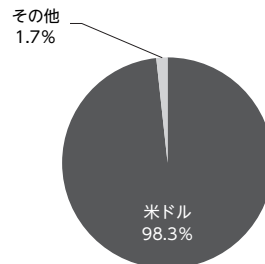
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・新興国債券」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	12,583円
純資産総額	5,487百万円
第2期	
騰落率	25.2%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・新興国債券

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

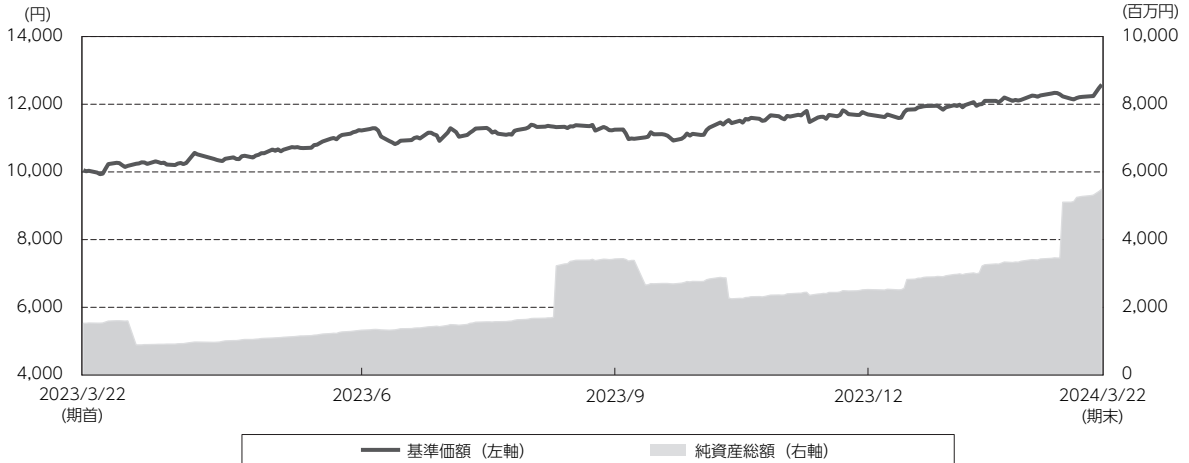
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：10,051円

期末：12,583円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：25.2%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化などによる米国金融政策の緩和への期待
- ・世界的なリスク選好の回復と新興国への資金流入による信用スプレッド（米回国債利回りと新興国国債利回りの差）の縮小
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引き上げ
- ・世界的な景気先行き懸念による信用スプレッドの拡大
- ・世界的なリスク回避と新興国の資金調達コストの上昇、信用スプレッドの拡大

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

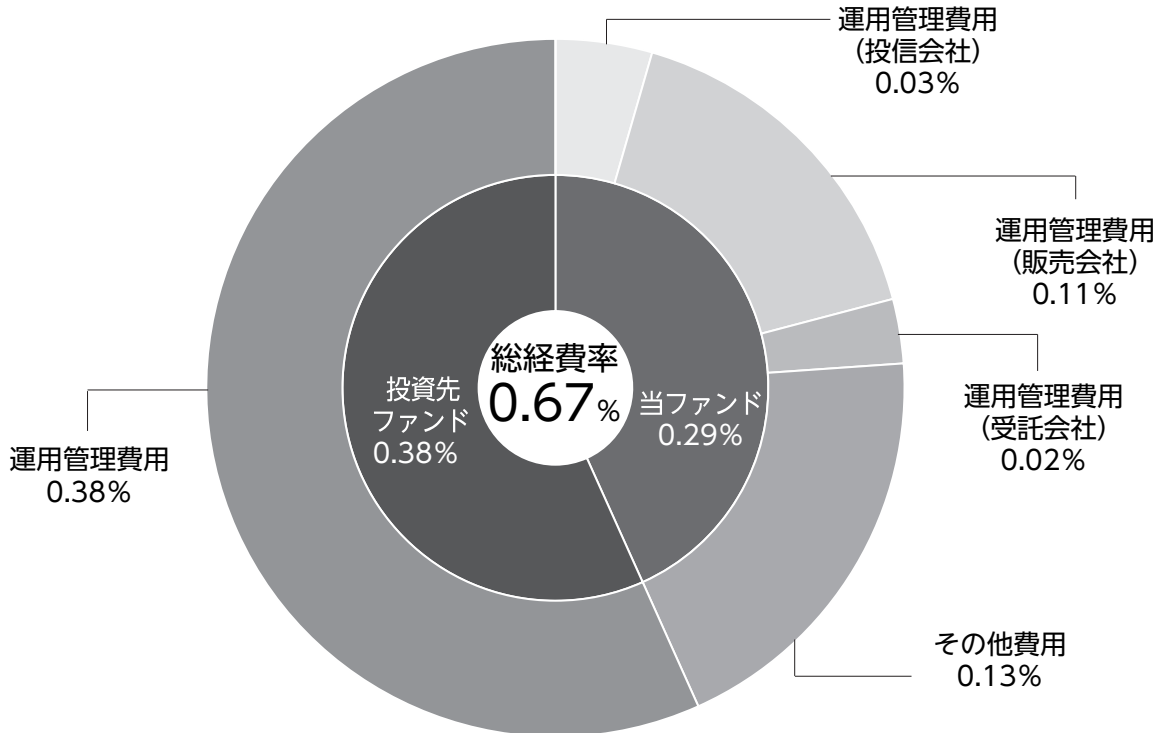
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	18 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 12 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	15	0.133	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 8 )	(0.073)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 4 )	(0.031)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 3 )	(0.028)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	33	0.294	
期中の平均基準価額は、11,237円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



総経費率 (①+②)	0.67%
①当ファンドの費用の比率	0.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年3月22日～2024年3月22日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2024年3月22日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,051	12,583
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.5	25.2
純資産総額 (百万円)	100	1,526	5,487

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

**<新興国債券市場>**

3月と5月に、米連邦公開市場委員会（FOMC）で各々0.25%の利上げが決定されましたが、利上げ局面の終盤に近いとの見方から、米ドル建て新興国債券市場のベースとなる米国国債価格は上昇（利回りは低下）しました。一方で、信用スプレッドは米欧金融不安や中国景気の先行きへの警戒感から拡大し、米ドル建て新興国債券価格はレンジ内の動きでした。6～7月は、米連邦準備制度理事会（FRB）の年内追加利上げの可能性が意識され、米国国債価格が下落（利回りは上昇）した一方、信用スプレッドは、米欧金融不安や米債務上限問題のリスク要因への懸念後退などから縮小し、新興国債券価格は全体的に上昇（利回りは低下）しました。8～10月は、堅調な米景気指標の発表が続き、FRBの年内追加利上げの可能性が意識され、米国国債価格は下落し、信用スプレッドは、中国景気の回復遅延や不動産問題、中東情勢の緊迫化などから拡大し、新興国債券価格は大きく下落しました。11～12月は、米景気減速への懸念やFRBの早期利下げ観測などから米国国債価格は上昇、また、信用スプレッドは中東情勢の緊迫化は抑えられるとの見方から縮小し、米ドル安により新興国通貨が買われたことなどから、新興国債券の価格は大幅に上昇しました。1～3月は、米雇用統計が市場予想を上回る強い結果となったことを受けて、FRBによる早期利下げ観測の後退などから、2月中旬までは新興国債券の価格は総じて下落しましたが、その後、米国経済における景気のソフトランディング期待から新興国市場へ資金が流入し、新興国債券価格は上昇し、今期を終えました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。



**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

**<(ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド>**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.3%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期	
	2023年3月23日～ 2024年3月22日	
当期分配金	－	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	2,583	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

**<（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド>**

引き続き、「iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF」を主要投資対象とし、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

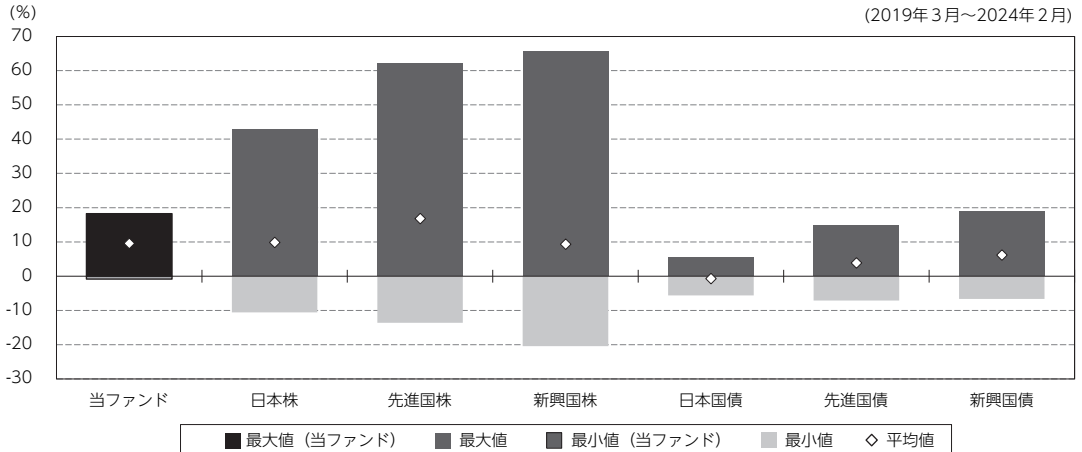
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.3	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	△ 0.9	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	9.6	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P78の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

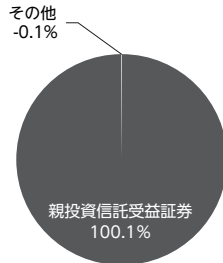
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

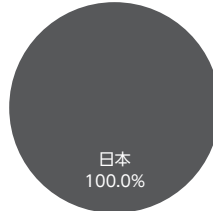
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

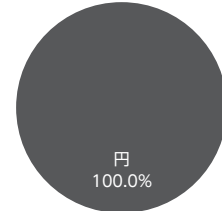
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	5,487,518,880円
受益権総口数	4,360,922,211口
1万口当たり基準価額	12,583円

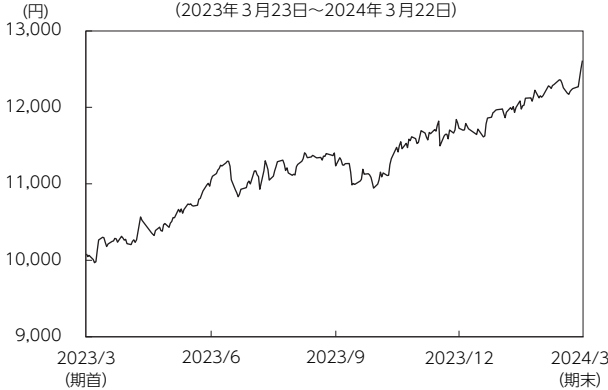
(注) 期中における追加設定元本額は5,503,972,232円、同解約元本額は2,662,278,245円です。

## 組入上位ファンドの概要

## （ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	8円 ( 8)	0.073% (0.073)
合計	8	0.073
平均基準価額は、11,255円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P68をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

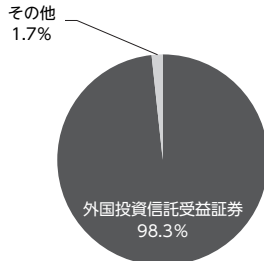
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	iShares J.P. Morgan USD Emerging Markets Bond ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.3
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

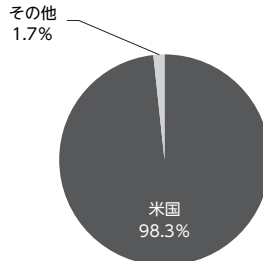
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

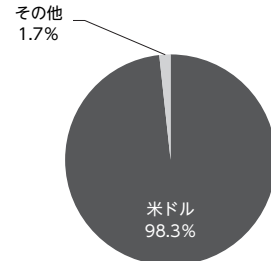
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国不動産」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	10,960円
純資産総額	3,327百万円
第2期	
騰落率	25.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国不動産

追加型投信／海外／不動産投信

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

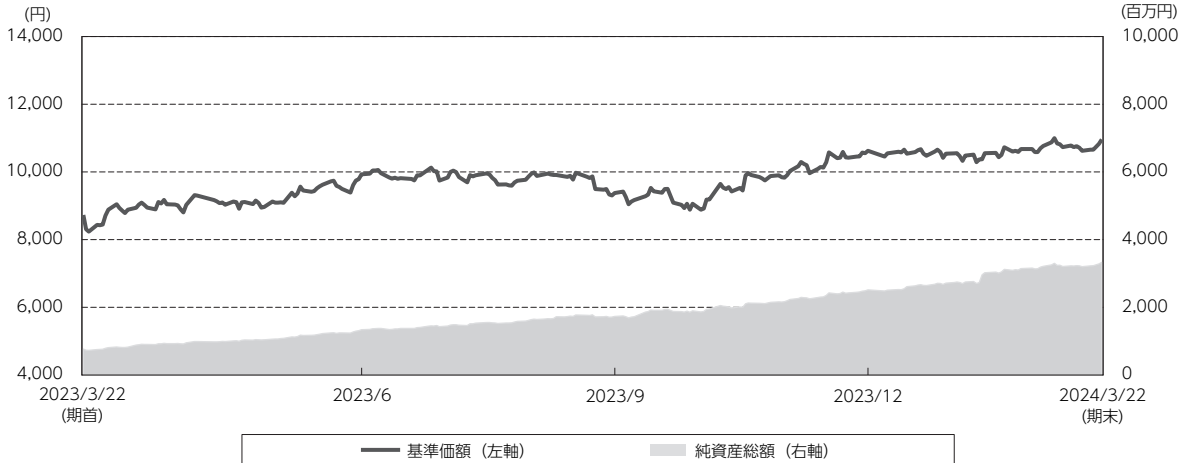
<https://www.sbiasset.com/jp/>



## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：8,725円

期末：10,960円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：25.6%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待と米長期金利の低下
- ・米住宅関連指標の改善
- ・対円での米ドルの上昇

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の政策金利引下げの遅れ、金利高止まりへの懸念
- ・米地銀破綻により金融システム不安

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

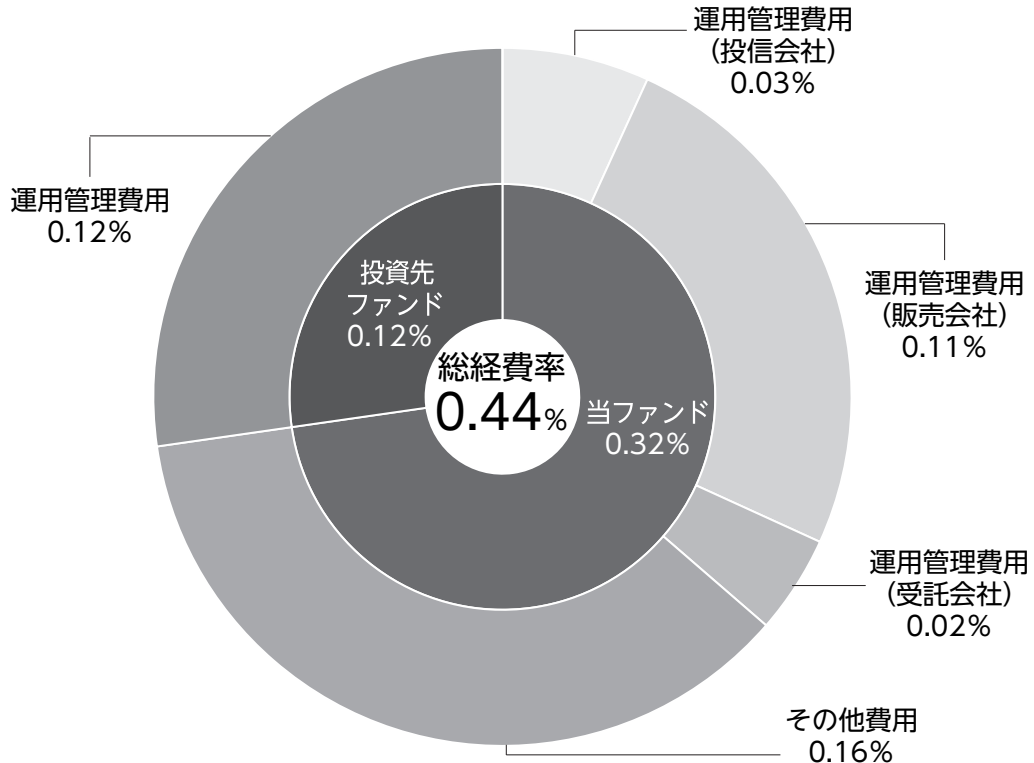
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	16 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 3 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 11 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	16	0.163	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 9 )	(0.092)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 4 )	(0.037)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 3 )	(0.034)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	32	0.324	
期中の平均基準価額は、9,727円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.44%です。



総経費率 (①+②)	0.44%
①当ファンドの費用の比率	0.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

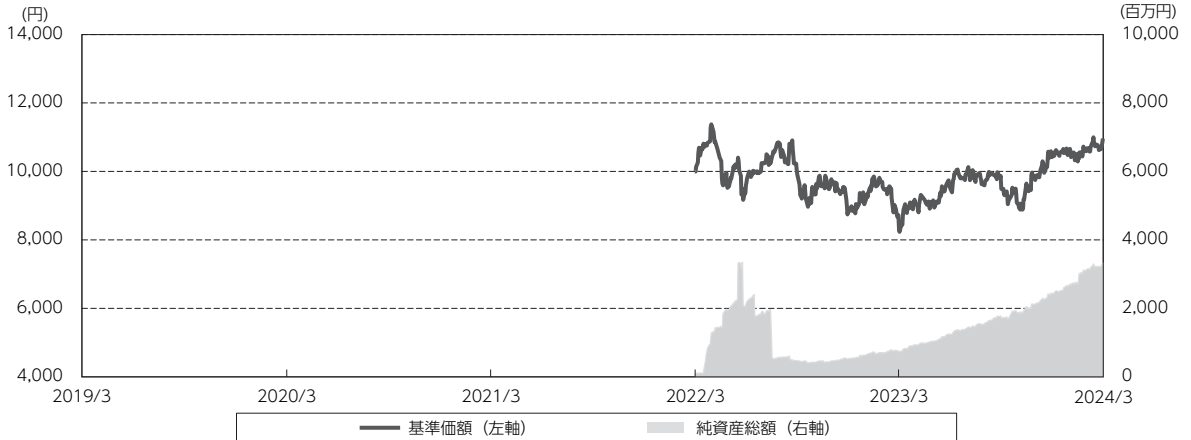
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年3月22日～2024年3月22日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2024年3月22日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,725	10,960
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△12.8	25.6
純資産総額 (百万円)	100	762	3,327

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

**<米国REIT市場>**

期初、米地銀破綻により金融システム不安が強まったことなどから米国REIT市場は下落した状態で始まりました。すぐに不安は米連邦準備制度理事会（FRB）などの支援により和らぎましたが、欧米における商業用不動産の資金調達を巡る不透明感などから、2023年7月にかけて、株価と比べ上昇が抑制される展開となりました。その後も、10月にかけて、米公開市場委員会（FOMC）で高金利長期化が示唆され、米長期金利が上昇傾向となるなか、下落しました。11月には、FOMCで追加利上げが強く示唆されなかったこと、米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化などから米長期金利が低下するなか上昇傾向へ転じました。米住宅関連指標に一部回復の兆しがみられたことも好感され、FRBの早期利下げ観測が強まるなか上昇しました。2024年1月以降、FRBの早期利下げ観測後退から米長期金利が上昇に転じたことから、下落傾向となりました。商業用不動産への貸出が大きい米地銀が赤字決算を発表し、貸倒引当金が急増したことなども嫌気され、一段と下落しました。その後も、FRBの利下げ観測後退が重しになりましたが、株高に伴うリスク選好の改善から上昇しました。3月に入り、米長期金利低下を受けてリスク選好が改善し、上昇しました。さらに、FRBがFOMCで、年内3回の利下げ見通しを維持したことが好感されました。期末にかけて、米CPI上ぶれを受けて長期金利が上昇に転じたことから、下落しましたが、結局、期初比上昇して当期を終えました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米CPIの伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数（PPI）の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

**< (ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド >**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・リアル・エステートETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.4%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2023年3月23日～2024年3月22日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期
	2023年3月23日～ 2024年3月22日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,375

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

**<（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド>**

引き続き、「バンガード・リアル・エステートETF」を主要投資対象とし、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

該当事項はありません。

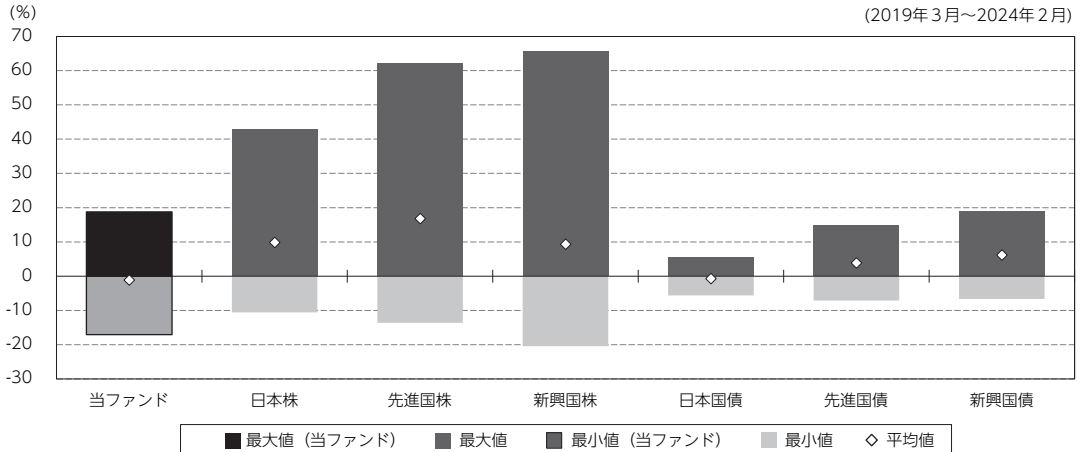
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.8	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	△ 17.0	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	△ 1.2	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P91の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

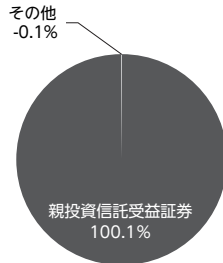
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

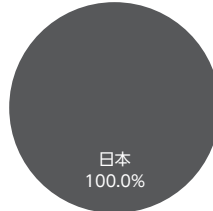
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

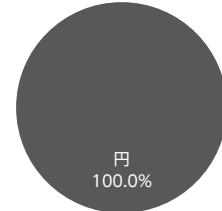
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	3,327,330,766円
受益権総口数	3,035,805,889口
1万口当たり基準価額	10,960円

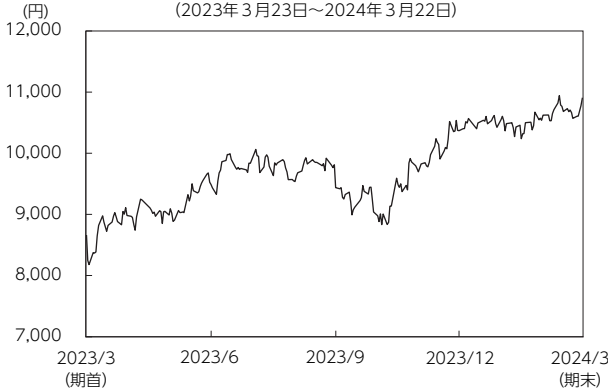
(注) 期中における追加設定元本額は2,884,324,795円、同解約元本額は722,593,438円です。

## 組入上位ファンドの概要

## （ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	9円 ( 9)	0.092% (0.092)
合計	9	0.092
平均基準価額は、9,671円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P81をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

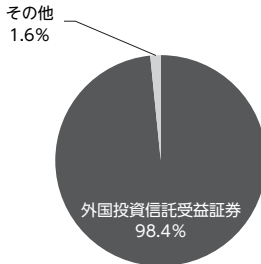
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard Real Estate ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.4
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

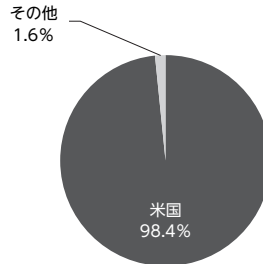
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

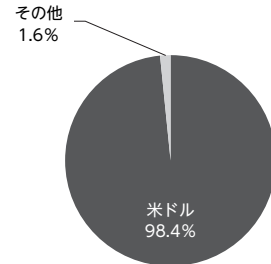
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・ゴールド」は、2024年3月22日に第2期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、金地金（ぎんじかね）価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2024年3月22日）

基準価額	13,725円
純資産総額	10,646百万円
第2期	
騰落率	27.2%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・ゴールド

追加型投信／内外／その他資産（商品）

## 交付運用報告書

第2期（決算日：2024年3月22日）

作成対象期間（2023年3月23日～2024年3月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

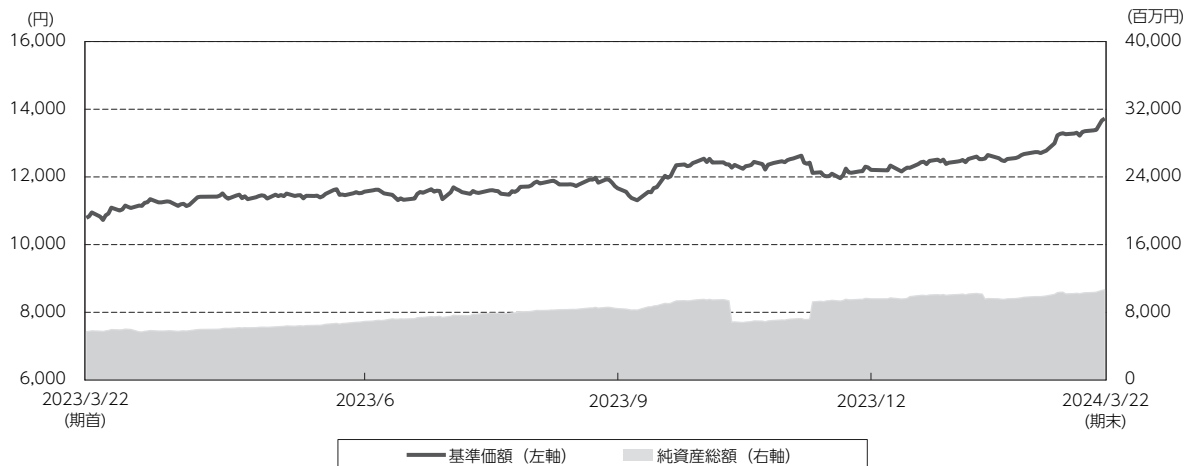
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年3月23日～2024年3月22日)



期首：10,788円

期末：13,725円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 27.2%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・地政学リスクを意識した買い
- ・インフレヘッジの買い
- ・米地銀破綻によるリスク回避的な買い
- ・米利上げペース鈍化への期待 (米金利低下によるドル安を反映した金買い)
- ・対円での米ドルの上昇

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の政策金利引上げと米金利上昇によるドル高
- ・インフレ高止まり、米景気堅調による米金利高止まりへの懸念

## 1万口当たりの費用明細

(2023年3月23日～2024年3月22日)

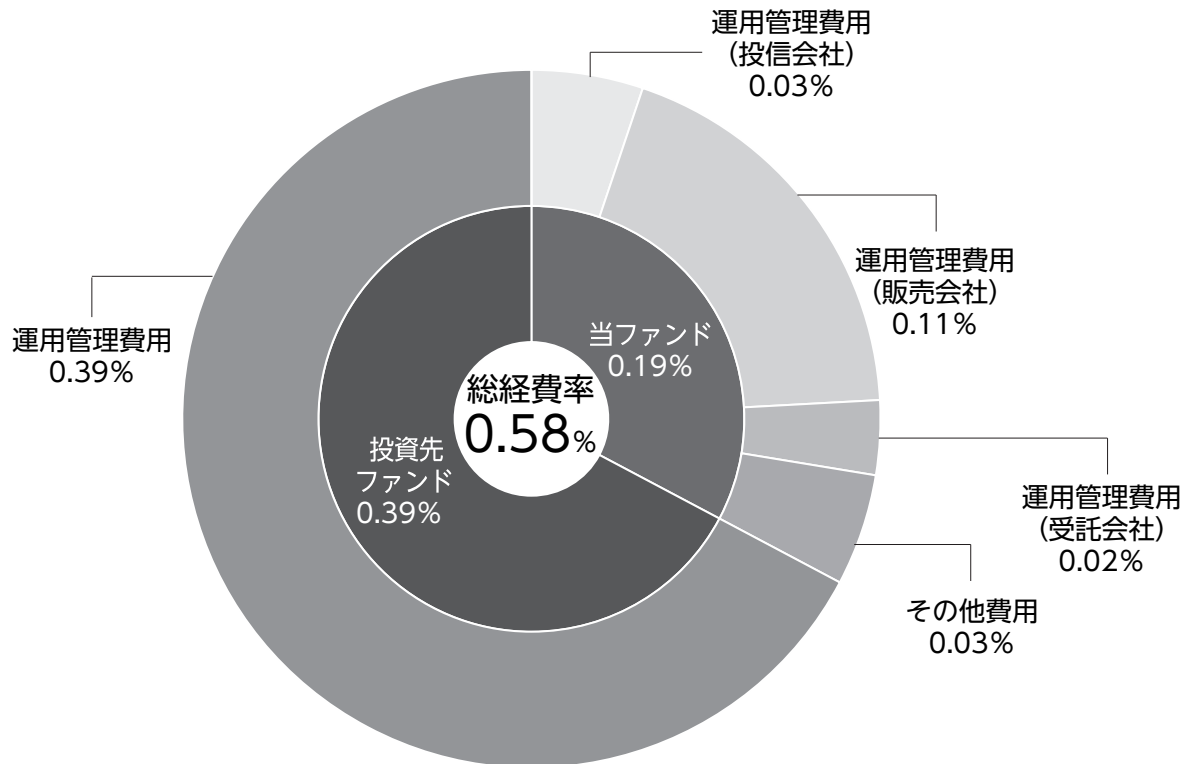
項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	19 円	0.161 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 4 )	(0.033)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 13 )	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	4	0.034	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 1 )	(0.008)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	23	0.195	
期中の平均基準価額は、11,896円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



総経費率 (①+②)	0.58%
①当ファンドの費用の比率	0.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月22日～2024年3月22日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2022年3月23日から2024年3月22日)のみの記載となります。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,788	13,725
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	7.9	27.2
純資産総額 (百万円)	100	5,697	10,646

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、金地金(きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<金現物市場>**

期初、金は、1オンス1,900ドル台半ばで始まりしました。米公開市場委員会 (FOMC) は利上げを実施しましたが、利上げの打ち止めが近付いているとの見方も生じ、相次ぐ米地銀破綻への懸念により上昇して1,900ドル台半ばで始まりしました。2023年5月ごろまで堅調に推移し、弱めの経済指標などにも支えられ2,000ドル台前半を付けました。その後、9月ごろまで、米利上げ打ち止め時期を探る展開の中、金価格は1,950ドル台を中心に横ばい推移となりました。9月に入り、FOMCは金利を据え置いたものの、金利高止まりが示唆されたことから金価格は一時1,800ドル台前半まで低下しました。10月に入り、9月米雇用統計で賃金上昇率が鈍化したことからドル安となったこと、イスラム武装組織ハマスのイスラエル攻撃により中東情勢の緊張が高まったことから有事の金買いに反発しました。12月にはFOMCで2024年の利下げ見通しが示され、米長期金利の低下とドル安が進み、インフレ指標の伸びも鈍化したことから、金価格は史上最高値を更新する展開となりました。2024年3月初めにかけて、良好な米指標発表に再び2,050ドル程度を挟んだレンジ推移となりました。3月は、米景気指標悪化から、早期の米利下げが意識され再び上昇傾向となり、パウエル米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の利下げ言及、2月米雇用統計の軟化などから、連日の史上最高値更新となりました。期末にかけてやや下げ2,150ドル近辺で当期を終えました。

**<為替>**

期初131円台で始まったドル円相場は、2023年6月末に145円近辺となり、大幅にドル高円安となりました。堅調な米雇用統計からFRBの利上げ継続観測と、日銀が植田新総裁の下、金融緩和の維持を決めたことなどから日米の金融政策の方向性の違いが材料となりました。7月には、弱い米雇用統計や米消費者物価指数 (CPI) の伸びが鈍化したことなどから米利上げ観測が後退し、一時137円近辺まで円高が進みましたが、7月中旬以降、米景気のソフトランディング期待が強まり、FRBの金融引き締めが長期化するとの見方から、8月下旬の147円台まで円安・ドル高が進みました。その後も、米CPIの上昇が鈍化せず、米金利上昇を受けてさらに円安傾向が続き、11月中旬に151円台半ばまで円安・ドル高が進みました。その後、米CPIの伸び鈍化、米景気減速への懸念や、植田日銀総裁の発言からゼロ金利解除期待が強まり円高ドル安傾向となり、12月末に141円近辺まで円高が進行しました。2024年1月に入り、能登半島地震を受けて日銀の金融政策の正常化観測が後退する中、円安・ドル高が進展しましたが、その後、米CPIや米国卸売物価指数 (PPI) の伸びが上振れし、FRBによる利下げ観測が一段と後退する中、2月末に150円までドルが上昇しました。3月は日銀金融政策会合でのマイナス金利解除への期待感から146円半ばまで円高が進みましたが、発表後も緩和的な金融環境の継続が改めて意識され151円近辺で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

**<当ファンド>**

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

**< (ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド >**

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが運用を行う「SPDR® ゴールド・シェア」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.8%となっております。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2023年3月23日～2024年3月22日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第2期
	2023年3月23日～ 2024年3月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,725

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

## &lt;当ファンド&gt;

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、金地金(きんじかね)価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

## &lt;(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド&gt;

引き続き、「SPDR® ゴールド・シェア」を主要投資対象とし、金地金(きんじかね)価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

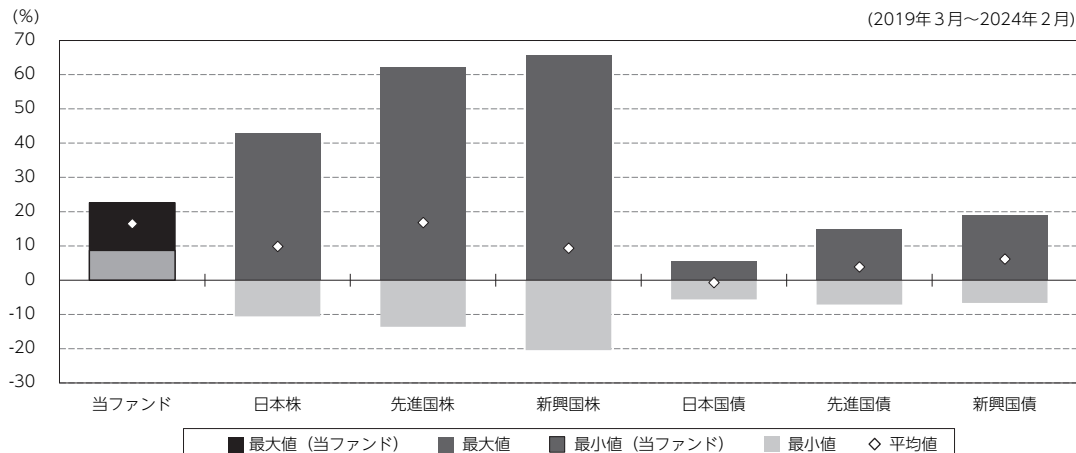
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (商品)	
信託期間	無期限 (設定日：2022年3月23日)	
運用方針	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド (ベビーファンド)	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) への投資を通じて、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回 (毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.6	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	8.7	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	16.5	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2024年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P104の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年3月22日現在)

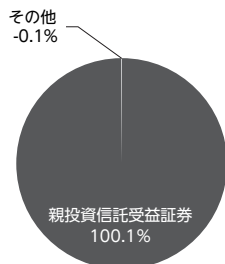
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

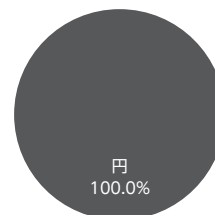
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2024年3月22日
純資産総額	10,646,889,971円
受益権総口数	7,757,020,098口
1万口当たり基準価額	13,725円

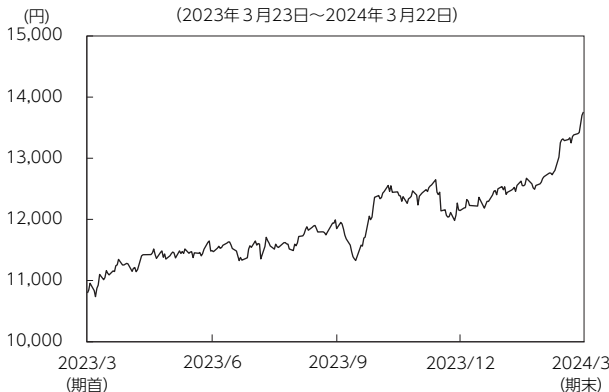
(注) 期中における追加設定元本額は8,727,621,020円、同解約元本額は6,251,861,113円です。

## 組入上位ファンドの概要

## (ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2024年3月22日)



## 【1万円当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2024年3月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 ( 2)	0.018% (0.018)
合計	2	0.018
平均基準価額は、11,914円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P94をご参照ください。

## 【組入上位ファンド】

(2024年3月22日現在)

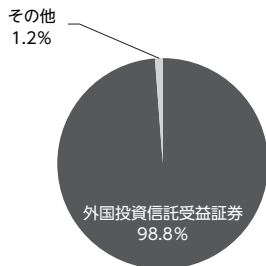
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SPDR® GOLD SHARES	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.8%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

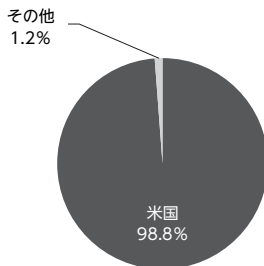
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

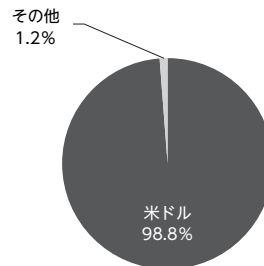
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年3月22日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。



## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。